



◆「反転授業」に取り組んでいます！（「笠間スタイル」その2）

笠間市では、1人1台端末を有効に活用して学習できるように、新しい学習様式「笠間スタイル」を進めています。第5号では、笠間スタイルの授業として「遠隔授業」を紹介しました。本号では、同じく笠間スタイルの授業である「反転授業」を紹介します。

◆「反転授業」とは？

反転授業とは、従来型の授業を「反転」させる教育方法のことです。従来型の授業は、学校で先生が新しい知識を教え、児童生徒が自宅で宿題などを通して習った知識の定着を図る、というものです。この授業形態を「反転」させます。自宅で事前にオンライン教材で新しい知識を学習し、学校の授業では学んだことを発表したり、意見交換を行ったりして理解を深めるのが「反転授業」です。つまり、児童生徒が知識を得る「インプット」と、理解を深め知識を定着させるための「アウトプット」の場を「反転」させる教育方法が反転授業です。



◆ 社会で求められている力は「アウトプット力」

反転授業のメリットは、成績の向上だけでなく、反転授業という学習スタイルを通して、アウトプット力が高まることです。ある調査によると「約9割のビジネスマンは、インプット中心の学び方や働き方をしている」とされ、インプット過剰・アウトプット不足こそが、研修しているのに成長しない最大の原因であると分析されています。今まさに、社会で求められている力は、アウトプット力なのです。反転授業では、個人で習得した知識を授業で「使って学ぶ」ことに重点が置かれているため、アウトプット力を高めることができるのです。

◆ 教えるべきことは徹底して教える

反転授業は、先生が教えない授業ではありません。子供たちの理解の様子をみて、教えなければならないことは、先生がきちんと教えます。

また、すべての授業が反転授業になるわけではありません。学習内容によって、「従来型の授業」「遠隔授業」「反転授業」などを効果的に使い分け、学習効果を高めていきます。それが、「笠間スタイル」です。



教育委員・吉崎静夫先生（日本女子大学名誉教授）から指導助言を受ける笠間小職員